

報 告 書 抄 録

ふりがな	しせき のしまじょうあと							
書名	史跡 能島城跡							
副書名	平成22・23年度 郭Ⅱ（第2・3次）調査報告書							
巻次								
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第119集							
編著者名	白石 聡、田中 謙							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-0028 今治市北宝来町 1-1-16							
発行年月日	2013年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
のしまじょうあと 能島城跡	えひめけんいまぼりしみや くぼちょうみやくぼ 窪町宮窪6571、 6572、6573、 6574、6575番地	202		34° 10' 58"	133° 04' 51"	201101 ～ 201203	375 m ²	史跡整備 に伴う試 掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
のしまじょうあと 能島城跡	城館跡	中世	掘立柱建物跡、地鎮 め遺構、大型方形土 坑、土留め石列、溝 状遺構、柱穴	土師質土器、瓦質土 器、国産陶磁器、輸入 陶磁器、石製品、鉄製 品、銅製品、鉄滓等				
要約	<p>郭Ⅱ東区では、総柱で2間×2間の掘立柱建物跡（SB-1）と、2間×3間の掘立柱建物跡2棟（SB-2、3）が重複して検出された。また、25枚の銭貨を検出した地鎮め遺構（SP-1）、大型（2.8×2m）の方形土坑が1基（SK-1）検出され、底面に粘土を貼り付けた構造を確認した。南区では2間×3間の掘立柱建物跡1棟（SB-6）、2間×4間が2棟（SB-5、7）、3間×4間が1棟（SB-4）、計4棟が重複して検出された。その北側、斜面裾に沿って溝状遺構が検出された。狭い空間でありながらも建物の顕著な建て替えが看取できた。西区では、2間×3間の掘立柱建物跡1棟（SB-10）、2間×4間が2棟（SB-8、9）、そして、郭Ⅱ東区でも確認された方形土坑3基（SK-3～5）が検出された。さらに、土師質土器皿25点、銭貨13点を伴う地鎮め遺構が（SK-7）が検出された。郭Ⅱは城内の居住空間として主に機能した可能性が高い。</p>							